

会 議 録

会議の名称	平成26年度 第4回西目まちづくり協議会
開催日時	平成27年3月26日(木) 午後6時00分～午後7時30分
開催場所	西目総合支所 第1会議室
出席者氏名	「出席者名簿」のとおり
欠席者氏名	「出席者名簿」のとおり
会議次第	
1. 開 会	
2. 会長あいさつ	
3. 報告	
(1)委員の交替及び専門部会委員の構成について	
(2)平成27年度主要事業について	
4. 議 事	
(1)由利本荘市総合計画・新創造ビジョンについて	
(2)平成27年度主要事業について	
(3)その他	
5. その他	
6. 閉 会	
会議の経過	別紙のとおり

◆出席者・欠席者名簿

(委員出席者12名)

No.	委員区分	氏名	出席	欠席	備考
1	1	牧野勝彦		○	
2	1	齋藤俊明	○		
3	1	三浦悦子		○	
4	1	佐藤強	○		
5	1	加藤公成		○	
6	1	岡田豊	○		
7	1	佐藤美子	○		
8	1	佐々木明美		○	
9	1	釜台修	○		
10	1	渡辺耕一		○	
11	1	石塚英治		○	
12	1	櫻井茂和	○		
13	2	三浦朋子		○	
14	2	佐々木豊一	○		
15	2	柳橋久美子	○		
16	2	長根サカエ	○		
17	3	鷹島恵一	○		
18	4	佐藤征男	○		
19	4	釜台保	○		
20	4	清橋一広		○	
計			12	8	

※委員区分は条例第4条第2項の区分に従い番号を記入

◆由利本荘市出席者名簿

(市出席者13名)

役職	氏名	備考
西目総合支所長	佐々木政徳	
企画調整部総合政策課長	原田正雄	
企画調整部総合政策課長補佐	柴田浩樹	
西目総合支所主幹兼振興課長	釜台憲二	
西目総合支所市民福祉課長	村井恭輔	
西目総合支所西目保育園主席参事兼園長	堀井珠子	
西目総合支所産業課長	加藤均	
西目総合支所建設課長	加藤敏行	
教育委員会西目教育学習課長	齋藤久美子	
教育委員会西目幼稚園参事兼園長	三浦章子	
西目総合支所振興課振興班長	工藤睦	
西目総合支所振興課主席主査	三浦真由美	
西目総合支所振興課主査	佐藤勇輝	

会議の経過

西目まちづくり協議会

平成27年3月26日(木)

午後6時00分 開会

●事務局より委員の参集状況と会議の開催要件を満たしていることを報告。

議長を会長へ依頼。

○鷹島会長

委員の交代及び専門部会委員の構成について事務局よりご説明をお願いいたします。

【報告】

① 委員の交代及び専門部会委員の構成について(資料1)

説明:工藤振興課班長

◇議長(鷹島会長)

ありがとうございました。新しく委員なられました方につきましては何卒よろしく願いいたします。

◇議長(鷹島会長)

それでは、報告(2)の地域づくり推進事業につきましては、議事の後に事務局よりご報告いただきますのでよろしく願います。

早速議事に入ります。最初に議事の1番、「市総合計画・新創造ビジョン」についてですが、本日は企画調整部総合政策課から原田課長、柴田参事においていただいておりますので、総合政策課より説明をお願いいたします。

【議事】

① 市総合計画・新創造ビジョンについて(別紙資料)

説明:原田総合政策課長、柴田参事兼課長補佐

◇議長(鷹島会長)

ただ今ご説明いただきました件について、ご質問ご意見等ございましたら委員の皆様方からお願いいたします。

○ A委員

ページ1のPDCAサイクルマネジメントですが、これをいつ誰がどのようにしてやるのかです。先回お話を伺った時、これには数値目標があるとお聞きいたしましたが、この中で出てくるのは36年度の数値としてできたのは7万2千人以上ですが、それ以外はただ文章を並べただけで、その数値目標が記載されていないようだが…。

それと10年後について考えたのですが、今由利本荘市が置かれている状況で、私はこの地域の生まれではなく周辺の山間部なのですが、そのような場所へよく行くのですが、ほとんどが限界集落です。その限界集落を見た場合に、今鳥海ダムが出来るとか、観光だとか色んな話がでましたが、本当にそういうものができて

その地域が潤うのか、そうでなければじっと耐える方が良いのではないかと古今東西昔から先人達の教えがあるところでもあります。いいことなのですが、ちょっと組織を拡げ過ぎなのではないでしょうか。

また、今心配しているのは農協改革です。農協改革が行われるということは、おそらく農家の大半がなくなる。農協があるから年老いた者も農業ができるのだが、これから中山間地に果たして大きな株式会社が来て農業をやるのか？ そうならないとすると限界集落がもっと進むことになる。

このような状況の中で答えられる範囲で結構ですのでお答え願えればと思います。

● 柴田総合政策課参事

基本計画の冊子にもありますが、農業、畜産の振興を目指してPDCAをまわすにあたりましては、例えば農畜産物の年間総販売額ですが、現状値平成25年由利本荘市では84億円ですが、平成31年の前期計画最終年度には、4億アップの88億円にしようということでありまして、現在よりも5パーセント増を目指しております。

穀物で年間1億円を超える作物は7品目ございますけれども、新たにしいたけ、ミニトマト、小菊等を加え10品目にして攻めの農業としての実現を目指していく考えております。

新創造ビジョンの戦略実践部隊であります『まるごと営業本部』ですが、4月から東京首都圏等に足繁く通いながら成果を出していこうとして企画しております。また、首都圏の大手スーパーに売り込みを進めていきたいとも考えております。

後半部分については、課長の原田の方からご説明申し上げます。

● 原田総合政策課長

「総合計画はあらゆることが網羅されてはいるが、メリハリがないのでないか。」とのご指摘かと思えます。現在人口は8万2千人おりますが、10年後には7万2千人の目標を掲げておりますが、1万人も減少するという目標が実際あるのかと思うかもしれませんが、それほど危機的に人口が加速度を増して減少しているということをご理解願いたいと思えます。世間では、「人口が減少しているのだから、何もしないでじっと耐えていけばよいのでないか。」というご意見もございます。しかし、人口減少をただ傍観しているだけでは、この減少の進行を抑制するどころか、限界集落化を加速させ、人がおらない集落が早いスピードでやってくるかもしれません。

ということで、あらゆる政策・施策を重層的に実施してこの加速度をゆるやかにする方策がありません。人口減少に歯止めを掛ける政策を一つ一つ丁寧にやるのが、今行政にも求められていることなのではないかと考えております。

「子どもを産める環境がそこにあるか、ここで子どもを育てていける雇用があるか、そして家族が食べていけるのか、市外が行かなくてもよい働ける場所があるのか。」

これらから始めていかなければ、若い方々は地元に残りません。したがって、複層的・重層的な施策の展開することで、この10年で人口減少に歯止めを掛ける足がかりだけでも作りたい。行政だけでは、絶対に出来ません。行政だけでは出来ません。それがこの新創造ビジョンであることをまちづくり協議会の皆さんにはご理解願いたいと思えます。

○ A委員

わかりました。回答はいりませんが、市としてもう少し農業の実態を学んで頂きたい。市場 JA しんせいブランドとして出せるものがないのです。就労の関係から中心街へ出てくると周辺部に戻らないイコール限界集落となる。この点を行政でもしっかり受け止めてまちづくりに反映して欲しいと思えます。

○ B委員

基本政策4の「スポーツによる健康で元気なまちづくり」ですが、私は、本荘地域の体育館を使用させて頂いておりますが、雨漏りが酷くて怪我する率が多いのですが、その施設の管理についても見ていただいて、早急に修繕・改善いただければと思います。

● 原田総合政策課長

基本政策には、スポーツ立市の推進とありますが、これからは健康寿命がどう伸ばしていくのが大切であります。本協議会からご提言がありましたことを担当部局に引き継ぎや財政当局にお話しておきます。

○ C委員

最重要課題で、10年後3千人位の差が出てくる訳ですけれども、目標に掲げた数値は、現在住んでいる方々が今後もそのまま定住しければ達成できる数値なのでしょうか？それとも他の要因、例えば工場を誘致しそこに雇用が生まれ人口が増加すると考えた数字なのでしょうか？

その目標数値の根拠をお教えいただければと思います。

● 原田企画調整部総合政策課長

平成22年が国勢調査、5年に1度開催される調査で今年も10月にございますが、この数値を元に推計しております。ただ、5年前の数値で古いのですが、社会保障人口問題研究所で出している数値もこの調査を元に出している数字です。上の線が平成22年の社会保障人口問題研究所で出した数字であります。下の数値は平成26年10月その4年後の住民基本台帳で市が管理しているもので、その数値は最新なので傾向がわかり、それ基本に伸ばしていったものが、

実態を表しているものは、この住民基本台帳ではもうすでに平成22年で予想した今年の10月の予想の数字を大きく下回る傾向が出ております。非常に暗転たる気持ちになりますが、人口の減少が加速しその表の線の角度がきつくなっていくのが実態です。

ではどうすれば社会保障人口問題研究所が示した数値まで持っていけるかと申しますと、今の少子高齢化、世代毎の人口ピラミッドはいかんともしがたく、すぐに改善できるものではありません。高齢者が多いということは自然動態(生まれた人の数から亡くなる人の数を引いた数字)ではずっとマイナスで、この数値も加速的にマイナス数字が増えております。出生率を3から4に上げたとしてもマイナスは収まりません。

では、どうやって改善していくかと申しますと、本市から出て行く人をどうやって防ぐか、社会動態(転入する人の数から転出した人の数を引いた数字)数字のマイナス幅が大きくなっておりますが、このマイナス幅を縮め、ゼロに近づけるようにしていけばこの数字をクリアすることができます。ですから、転入を増やす。移住ですね。雇用を増やせば外から人が来ます。ここにいない人も外にいかなくても暮らせませす。ですから、定住と移住、雇用による転入促進、転出抑制。これをどうやっていくのか。やはり産業振興が主になっていくと思います。社会動態で何とかしていきたい。先程もでておりましたが、まるごと営業本部・仕事づくり課が外に対して情報発信して由利本荘市のものをブランド化して何とか売り込んでいきたい。この足がかりを作っていく成果を上げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○ D委員

就学の件ですけれども、西目には西目高校があるのですが、少子化による高校の再編・一体化の問題があります。この地域は、公共交通機関を利用して通う高校としての利便性や比較的中心街へ行きやすいことからここに居住を考え移り住んできた方々もおります。

その結果として、人口も増えているんだということを頭に入れておいて欲しい。

● 柴田参事兼課長補佐

この話についても基本政策4のお話させていただきました「ふるさと愛を育む次代の人づくり」につながりますし、地域に魅力があれば人が集まります。人が集まれば仕事が出来ますし、まちが活性化いたします。今後、市としても検討して参りたいと思っております。

【議事】

② 平成27年度西目地域主要事業について(資料4)

説明:佐々木総合支所長、釜台振興課長、村井市民福祉課長、堀井保育園長、加藤産業課長、加藤建設課長、三浦教育学習課長、三浦幼稚園長

◇議長(鷹島会長)

ただ今ご説明いただきました件について、ご質問ご意見等ございましたら委員の皆様方からお願いいたします。

意見・質問なし。

無いようですので、次第の前に戻りまして報告の(2)平成27年度地域づくり推進事業について事務局よりご説明をお願いいたします。

【報告】

② 平成27年度地域づくり推進事業について(資料2・3) 説明:釜台振興課長

◇議長(鷹島会長)

事務局の報告に対して、委員の皆さんのご意見ご質問をお伺いしたいと思います。

意見・質問なし。

【その他】

◇議長(鷹島会長)

それでは、議事の(5)その他ですが、事務局から何かありますか。

事務局よりなし

◇議長(鷹島会長)

それでは本日の議事については、これで終了したいと思います。長時間にわたり、みなさま方ご協議ありがとうございました。

【午後7時20閉会】